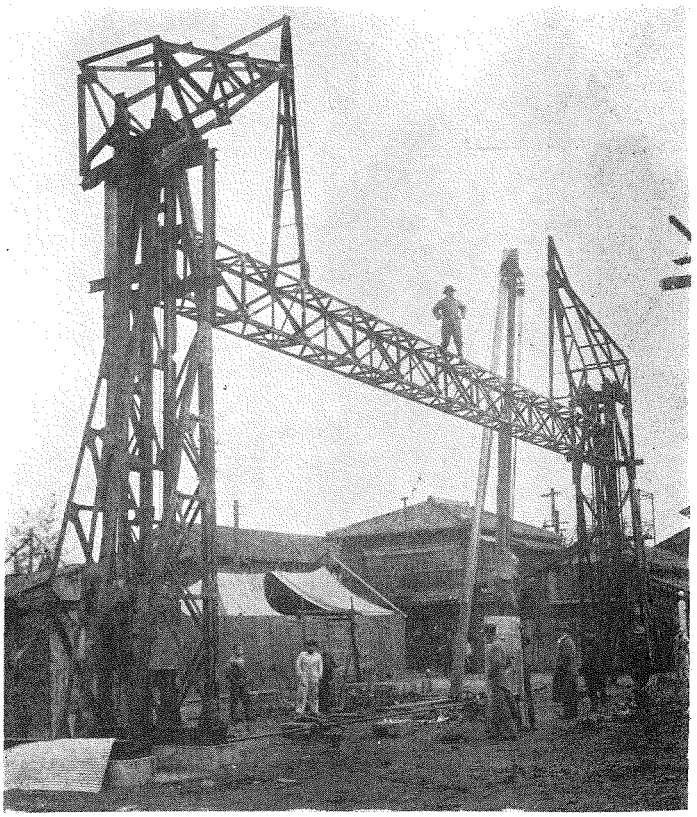
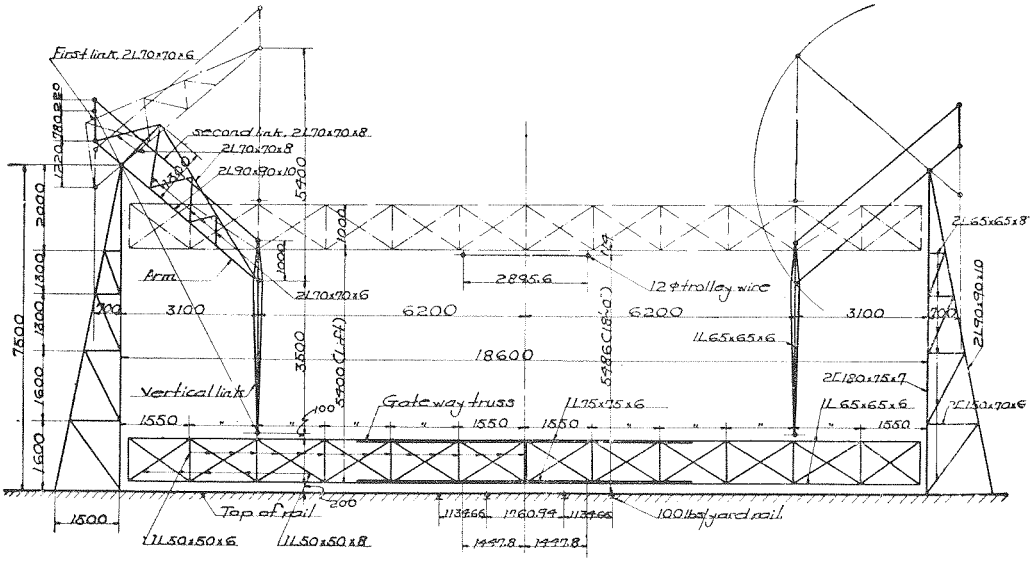
新らしい踏切遮斷機

特許山本式踏切開閉裝置

これは可動橋のエキスパートとして知られる山本工務所の山本卯太郎氏の考案になり特許となつたもので、構造は下の圖面の通り踏切遮斷機としてはあまりにいかめしく見えるでせうがこれは同氏が今施工されてゐる釜山牧の島可動橋に取りつけられたので、この遮桁が下らなければ橋が動かない仕組になつて居り、自働車などが河の中へ飛び込むと云ふ危險をなくするためのものですから、成程とうなづけるでせう。山本氏の說明によると、この桁はそのバーチカルメンバーを少し延して手摺とし、桁の上面に板を貼ることによつて、大ビルディングの火災等の場合の避難エレヴエーターにもなり、また吊上橋にも應用出來るとのことです。構造が簡單で運轉費用の經濟的な點から云つて、この他にも利用の途はいくらもありませう(48頁參照)



(1) Skeleton for gate way structure and its link work.